

しかおい

議会だより

第111号



第25期町議会議員改選
3 常任委員会でスタート！

住民参加と情報共有

■ 2011年7月25日発行 ■ 発行者 北海道鹿追町議会

【E-mail】 gikai@town.shikaoi.hokkaido.jp

【URL】 <http://www.town.shikaoi.hokkaido.jp/>

あらたな議会構成でスタート!



広報広聴常任委員会の役割

◎広報広聴常任委員会(10人)
委員長 吉田 稔
副委員長 狩野 正雄

議長を除く全議員が所属する広報広聴常任委員会は「開かれた議会、親しみやすくなりやすい議会」の実現を目指すもので、住民参加の「見える」議会づくりのための第一歩です。

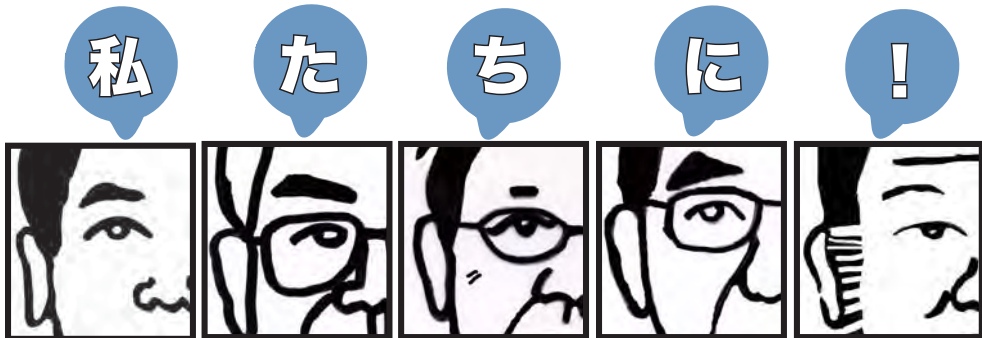
また、委員会活動を機動的に、専門的にすすめるために部会制をとりました。

○広聴部会/まちなか会議の企画立案や日程調整、住民への周知を行います。対話の中で情報の収集、意見要望の把握、政策提案や課題解決につなげます。

部会長 吉田 稔
副部会長 飯沼 新吾
部会員 川染 洋
部会員 安藤 幹夫
部会員 台蔵 征一

○広報部会/議会広報、ミニ広報の編集発行を行います。議会活動の報告、議決事項の説明、町政の課題や条例の制定について周知します。読みやすい広報紙づくりをめざします。

部会長 狩野 正雄
副部会長 武藤 敦則
部会員 加納 茂
部会員 上嶋 和志
部会員 山岸 宏



4月に議会議員選挙が行われ、新たな議員体制で議会を構成。広聴機能を充実させた広報広聴常任委員会を新設し、3常任委員会でスタート。議会基本条例のもと、より身近な議会へと活動します。

議長に埴淵賢治議員 副議長に川染洋議員

5月1日に施行されました鹿追町議会基本条例のもと、議員定数を2人減とし3常任委員会を構成、次のあらたな委員会構成でスタートしました。

◎総務文教常任委員会(5人)

委員長 安藤 幹夫
副委員長 加納 茂
委員 川染 洋

◎産業厚生常任委員会(5人)

委員長 上嶋 和志
副委員長 飯沼 新吾
委員 吉田 稔
委員 台蔵 征一
委員 武藤 敦則

委員 狩野 正雄
委員 山岸 宏

※議会運営委員会、基地対策特別委員会等の議員構成は5月25日発行の議会だよりミニ版に掲載しています。

まちなか会議の開催

「住民参加型の開かれた議会」との思いで、皆さんと直接対話できる仕組みを決めました。

新設になった広報広聴常任委員会では、「まちなか会議」を企画しています。皆さんの要望に応じて開催します。申し込み用紙を、町内各団体に配布しています。商工会、農協、各種団体、行政区などに呼びかけていますが、詳細は鹿追町役場議会事務局(電話66・4039)までお問い合わせ下さい。



埴淵 賢治 議長

議会の情報をできるだけ皆さんに提供し、まちなか会議を通じ、様々なご意見、ご要望を聴取したいと考えています。開かれた議会実現のため、皆様の参加をお願いします。



つぶやき

■今年の白蛇まつり。中学生が白蛇の舞いをはじめておこなった。伝統文化のいのちは若者だ。ガンバレ!!

平成23年6月定例議会は、6月7日に開会して一般会計補正予算、特別会計予算など16議案を審査し、全議案原案通り可決し（反対者なし）22日に閉会しました。



執行方針

無投票で4選をした吉田弘志町長の「町政執行方針の説明」が行われました。

（執行方針要約）

私は、町民皆さまのご支援をいただき4度目の町政を担当することになりました。町づくりは、継続性と革新性の調和の中で町民の幸せを追求しなければなりません。町民皆様のご支援と、議会皆様のご指導により、最大限の努力をします。

・各会計政策予算

一般会計は約2億4千万円を追加補正し、総額で約52億9千1百万円とします。特別会計は2会計で約1千3百万円を追加補正し、7特別会計全体で約25億8百万円となり、全会計では約78億3千万円の予算規模となっています。

・まちづくり関係

今年度スタートした第6期鹿追町総合計画を核として、町民参加による協働のまちづくりをより一層努力

します。

・町民課関係

新エネルギー、省エネルギーの実践事業を取り入れた「環境の町しかおい」の実現に向け一層努力します。



・農業関係

瓜幕地区のバイオガスパラント整備により、地域資源循環型社会の一層の実現を図ります。

・保健福祉関係

障がい者福祉について、障がい者やその家族が安心して地域で生活できるように支援体制を強化すべく、グループホームの設置等について研究を進めます。

・商工観光関係

帯広空港のダブルトラックینگ化、秋の道東道の全面開通を控え、来訪者増に

補正予算

瓜幕バイオガスパラント計画始動 調査事業を開始

一般会計補正予算は2億9百59万円を追加し、総額を52億9千6百59万円としました。

主要な補正予算

○瓜幕バイオガスパラント調査

現在、鹿追・中鹿追地区にある町環境保全センターは家畜排泄物を利用するプラントとしては国内最大級を誇ります。瓜幕バイオガスパラントはその規模をしのぐ約3倍の能力を持つプラントでその実施設計に向けた基礎調査を行います。

○乳質向上対策事業

乳質向上のためにJA鹿追町と協力し、乳房炎発生防止事業に助成します。

○公営住宅整備

2千9百万円 緑町中央団地公営住宅（全体計画4棟8戸）のうち1棟2戸を建設します。



○発達支援センター改修

1千7百10万円 子どもの療育（児童デイサービス）の拠点施設として、旧老人福祉センターの未改修部分を整備します。



○消防ポンプ車購入

3千1百50万円 第一分団ポンプ車を更新、消防活動の充実を図ります。

○鹿追町民花火大会補助金

3百万円 地域の活性化と観光客の増加を図ります。

○クレーン付トラック購入

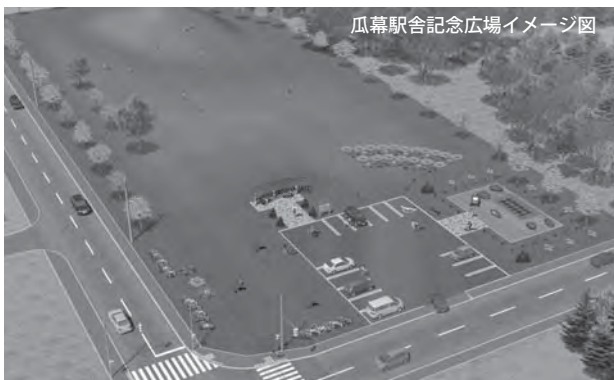
1千50万円 道路維持及び公園管理の充実を図ります。

○道路等整備事業

2千6百90万円 鹿追南8号線改良舗装工事、町道東町3号通りほか防塵処理工事、笠井橋補修工事等を行います。

○瓜幕駅舎記念広場整備

3千1百万円 瓜幕地域住民の憩いの場、瓜幕の玄関口として旧拓殖鉄道瓜幕駅跡地を活用した公園整備を行います。



特別委員会

22日、議会では「瓜幕バイオガスパラント調査等特別委員会」を設置しました。委員長は上嶋和志議員、副委員長に安藤幹夫議員、議長を除く10人の議員で構成されます。

同意

副町長に安部克裕氏を選任

6月30日に任期満了となる副町長安部克裕氏の選任（再任）提案があり、これに同意しました。

なお、安部副町長の任期は、平成27年6月30日までの4年間で。



固定資産評価審査委員に萩尾則子氏を選任

6月29日に任期満了となる固定資産評価審査委員に萩尾則子氏（緑町一）の選任（再任）提案があり、これに同意しました。

農業委員に推薦

7月19日に任期満了となる農業委員会委員に議会推薦として松浦優氏（東瓜幕）を推薦しました。



つぶやき

夏の甲子園十勝地区予選開会式。鹿追高校野球部の畑主将が選手宣誓。東日本大震災で被災した球児を思いやる宣誓は、爽やかに響き渡った。

2人の議員が 町政を問う。

Q 住民が一番知りたいことを放送することが、安全・安心の町に。

A 情報伝達等は極めて重要。



狩野正雄議員

受信機器購入事業でどのくらい設置がすすんでいますか。

Q

3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらしました。災害時の情報伝達は大変重要です。正しい情報が速く伝わるためには防災放送の設備や受信機器の整備が欠かせません。防災無線放送の聞き取りにくい地域の調査や対応、

（答弁） 吉田町長
今回の大震災は鹿追町にとっても色々な教訓を残しており、災害発生時の情報伝達は極めて重要と考えます。

1点目の質問ですが、街頭放送の設備を鹿追で2基、瓜幕で1基増設し拡声器の方向を調整してます。戸別受信機の購入事業により合計709台を設置、今回も補正予算により1台1万円助成を行います。

Q

住民から先日の選挙で結果の放送がなかったことについて問い合わせがありました。定時放送やそれ以外の放送で内容の基準を設けていますか。

（答弁） 吉田町長

選挙管理委員会の判断によって、放送されなかった



防災無線放送機器

狩野正雄議員

防災無線放送の拡充で安全・安心の町に



飯沼新吾議員

然別湖の旧北電寮の有効活用は



Q 然別湖休養林施設（旧北電寮）の有効活用は、

A 維持管理をし、運営を決断する時期。



飯沼新吾議員

Q

然別湖休養林施設（旧北電寮）は、昭和54年北電より無償で譲渡されて以来、すでに32年が経過しています。施設の老朽化に伴い建物の維持管理のためにすでに1千3百万円以上が使われています。長年にわたり遊休施設として経過していることもあり活用方法のアイデアを募るなど積極的に検討し決断する時期ではないでしょうか。

（答弁） 吉田町長

然別湖休養林施設は、北電より鹿追町に無償譲渡を受けた昭和54年で建設後、

すでに20数年経過しております。

当時町としては、職員厚生施設としての利用を考慮しておりましたが、譲渡時に宿泊施設としてはいけないという条件等がありまして思い通りの活用ができませんでした。その後、運用検討委員会を設置し様々な提案をいただきましたが、それらも多額の費用を要するため具体化されませんでした。

平成5年に写真の展示場や平成18年1月にこのままでは建物が朽ち果るということで環境省の公園管理事務所と相談させていただき、民間による有効活用を進めましたが、諸般の事情により中止されました。

その後、町に戻していただき、建物を保存するという視点から国の補正予算を財源として修繕を行いました。

風光明媚な然別湖の施設として、今後価値を高めることが可能と考え維持管理をして運営していく決断をする時期だと考えています。



旧北電寮

ナイター 議会の 傍聴に、 来ませんか。

9月の定例会は9月7日から22日の日程で開催が予定されています。13日午前10時から一般質問を、20日には決算委員会をナイター議会（18時）で予定しています。この機会に議会の傍聴に来てみませんか。詳細は役場議会事務局まで66-4039



つぶやき

■秋には道東道が全線開通し、道央圏と直結。たくさんの人が十勝に来てくれるといいなあ。経済効果に期待。

議会公報生口会

鹿追町議会基本条例に定めた「まちなか会議」の一環として、平成23年6月定例議会の報告会を7月7日に、鹿追町議会議場と瓜幕のウリマツクホールの2カ所で行いました。初めての試みで、町民の皆様にも私たち議員も戸惑いの中での開催でしたが、開かれた議会実現のため、確かな一歩を踏み出したものと考えます。

参加者16人からのスタート

鹿追会場7人・瓜幕会場9人

町議会本会議場で

行われた議会報告会

議会広報広聴常任委員会が主催する初めての鹿追会場での議会報告会は、午後6時半より役場3階の議場を使っておこなわれました。

た。町民からの参加は、7名と少数でしたがそれぞれ日頃より町政に関心を持っていた人たちでしたので、活発な質疑が行われま

した。

鹿追、瓜幕と2会場で同時に進行になりましたので報告に当たる議員も2班に分かれて行いました。鹿追会場では、埴淵議長のおいさつのもと、吉田議員、飯沼議員、加納議員、上嶋議員、山岸議員がそれ

ぞれ役割を分担し、説明員の飯沼議員が6月定例会の内容を会場で配布した資料に沿って説明しました。補正予算の内容や、ちょうどこの日、帯広市との間で締結された定住自立圏協定の内容などについて質問され、それぞれ議員が交代で回答しました。また議会の一般質問の表

題をもっと早く周知されれば、傍聴にも行きやすいので早い段階で知らせてほしいという要望が出され、前向きに検討すると回答しました。最後に9月に行われるナイター議会と第三者審議会の委員の公募についてお知らせをして1時間10分ほどで報告会を終了しました。

質問 プラントで発電した電気は地域のエネルギーとして利用は可能か。

回答 電気事業法の関係で高いハードルがあります。新エネルギーの全量買い取り制度など、国の政策により夢は大きく広がります。

質問 塵芥収集車の更新がされますが、ごみ処分場の実態は。将来の処分方法として燃やすことは。

回答 現在の埋め立て処分場は計画の45%になっており、平成30年までは使用可能とのこと。将来の処分方法については、行政と共に検討します。

報告会は1時間45分ほどで終了しました。

地域の人にもっと来てほしい

瓜幕 小竹好太郎さん

議会報告会に取り組んだことに敬意を表したい。今回の参加者が9名でしたが、地域の人にもっと来てほしいですね。どんな意見でも全て町づくりにいかす事ができる良い機会です。



ウリマツクホールで行われた議会報告会

何人の人にもっと来てほしいか不安もありましたが、瓜幕会場は9人の地域住民が集まりました。川染副議長、安藤議員、狩野議員、台蔵議員、武藤議員の5人で司会、報告、記録など役割を分担して進めました。

はじめての議会報告会は6月定例議会の内容をまとめた資料にそって説明されました。参加者からは次のような質問や意見がありました。

質問 瓜幕地域ではバイオガスプラント建設に対する関心は高い、調査業務の予算があるがどんなことをするのかが。

回答 各酪農家において施設の形態やふん尿の量など専門の見地から調査をおこないます。

質問 バイオガスプラント利用に参加したとき、酪農家の負担額は。

回答 中鹿追プラントの例で成牛1頭、1万2千円です。



瓜幕地域の議会報告会

広報紙では伝わらない行間が感じられた

仲町 木幡裕人さん

広報紙や新聞では伝わらない行間の内容が議会報告会に参加して充分に感じられました。時間が許せば、他の方たちも参加してみたいかでしょう。



つぶやき

■今年も暑い夏になるのか、今の気候ではそんな予感があります。ここは北海道、ふさわしい気候であってほしいです。



鹿追地域の議会報告会



瓜幕地域の議会報告会

総務・産業
委員会合同
町の施設調査
報告

議会改選後、常任委員会としてはじめての活動である町内公共施設調査を6月8日に実施。調査、分析、改善措置などについて議論を行いました。項目別に報告します。

ライディングパーク

本年度、パークゴルフ場のシヨートホールの改修整備が予定され、広く町民に利用される事が見込まれる。

めぐまれた環境を更に有効に利用するため近隣町村、道内外に向けて情報を発信することが重要課題である。



旧西原研究所

○研究施設
老朽化が懸念されることから、民間会社の福利厚生施設等の利用方法を検討していく必要がある。

この施設周辺の環境整備と備品の管理・処分については充分検討する必要があります。



一般廃棄物最終処分場



住民のゴミに対する理解と協力により、目標値より10%減量で推移している。平成30年までに処分場が満量となる予想がされ、平成25年までに次の計画の策定が予定される。

今後事業の広域化、埋立地の新たな建設、焼却施設の建設等の幅広い見地から充分な調査研究が必要である。

共同調理場

町内全小中学校及び幼稚園等に7百食程度の大規模調理を実施。地場農畜産物の利用価値を高める機能を持ち合わせ、衛生管理、施設運営ともに特に問題がなく良好である。

また、今後予定されるへき地保育所への給食にかかわり、各学校・幼稚園における食育教育については、今後調査研究する課題の一つとして残る。



町営牧場

- パドック改修予定地、バンガーサイロ建設予定地の防疫上の配慮から車中より視察。
- 今後新たな牧場用地を求めため周辺の候補地を視察。



○旧西原研究所用地等
瓜幕バイオガスプラントの建設予定地であるが環境的には良いが受益農家との距離があるため検討が必要である。

研修棟・宿泊棟の有効利用が必要である。

ふれあい農芸公園

- 芝生の造成も終わり花の苗の移植、花壇の整備が行われていた。
- 町民植樹祭が行われ、多くの町民が参加されました。このような町民が参加



しての公園整備は、自分たちの公園という意識付けをさせるためにも有効と思われる。



もみじ工房

- 障害年金と工房での収入で自立を目指している。
- 花の苗の生産、サツマイモの栽培などを通して社会との交流を行っている。
- 将来工房の利用者が増加の傾向にある。
- ケアホーム、グループホーム設置が必要である。



つばやき

■F(フード)E(エネルギー)C(ケア)、この3文字がこれからの地方政治のキーワード。鹿追町は先んじて取り組んでいます。



笹川 最上カツ子さん

植樹は力仕事で大変ですが、孫たち、そして多くの子どもたちがこの木の花のように、美しい心を持った人に育ってほしいです。

(取材・インタビュー 加納 茂)



6月25日、約100余名の町民の参加を得て、盛大に植樹祭がおこなわれました。次第に姿ができてつつある農芸公園に、ツツジなど700本の植樹をし、皆汗を流しての奮闘でした。今後、年を重ね変貌する農芸公園、町民の安らぎと癒しの場所として大切にしていきたいものです。



町民植樹祭がおこなわれました。



東町 鈴木運蔵さん

浅草の新門さんには三社祭でお世話になっていました。歴史や文化において学ばべき点が多く、まず鹿追の子どものたちの交流に繋がればと思います。そこから色々な交流の輪が広がればと期待します。

(取材・インタビュー 上嶋 和志)



7月12日、吉田町長、埴渕議長と3常任委員長で台東区役所を表敬訪問しました。鹿追町と台東区との間で、姉妹都市友好提携を結ぶことを前提とした協議を関係議員と行いました。平成10年より鹿追の神輿会「鹿翔」が、「三社祭で神輿を担ぐことから始まった交流ですが、今後は姉妹提携をむしろぶことによるお互いのメリットを十分に確認して、次の段階に進む事が重要になります。交流が一層深まることを確信させる訪問になりました。

浅草・台東区との交流を協議 台東区役所を訪問

編集後記



今期より、広報特別委員会に代わり広報広聴常任委員会がスタートしました。議会広報とミニ広報の企画編集は広報部会が行っています。写真は5人の部会員とそれを支える議会事務局の職員です。

(広報部会長 狩野正雄)

議会広報広聴常任委員会 広報部会

- 部会長 狩野 正雄
- 副部会長 武藤 敦則
- 部会員 加納 茂
- 上嶋 和志
- 山岸 宏